

提出していただいた意見と、それに対する市の考え
豊明市スポーツ推進計画(案)

| NO. | 意見等の概要 | 豊明市の考え・対応 |
|-----|---|---|
| 1 | <p>スポーツ教室について 以前実施していたスポーツ教室でのテニスがなくなったことについて、教室ではいろいろな人との交流ができて楽しかったので、ぜひ復活していただきたい。</p> | <p>テニス教室は、平成21年度まで開催されておりましたが、22年より中止させていただいております。中止した主な理由としては、民間のテニススクールが増え、初心者でも参加しやすくなったこと、また福祉体育館アリーナを使用しても少人数でしか受講できないことがあり、他の種目に変更させていただきました。現時点では、上記の理由によりテニス教室の再開は考えていませんが、体育協会などの関係団体と検討していきたいと思っております。</p> |
| 2 | <p>豊明市民考案ニュースポーツの募集と普及 市民が考案した新しいスポーツを募集し、採用されたスポーツを市のニュースポーツとして登録し、指導員の育成、地域での教室、市の大会開催など普及に努めてほしい。</p> | <p>豊明市では、ニュースポーツの普及活動はスポーツ推進委員が主に行っております。頂いたご意見については、市スポーツ推進委員と協議し、委員の活動の一つとして位置付けていくか検討していきます。</p> |
| 3 | <p>スポーツ人材バンク(仮称)の設立について すべてのスポーツを対象にしたスポーツ指導員の育成と、技能、知能、経験があり、体力のある人を育ててほしい。</p> | <p>現在のスポーツ指導員制度は、主にスポーツ教室やスポーツクラブの指導者が登録されていますが、活躍の場が少なく、周知も不足しています。本計画では、スポーツ指導員制度を見直し、新しくスポーツ人材バンク(仮称)を設置し、地域、学校、サークルなど、さまざまな場で、指導をしたい側にも、されたい側にも分かりやすい制度設立を目指していきます。また、イベントなどでの人手不足解消のために、ボランティアの募集に関する内容も検討していきます。</p> |
| 4 | <p>スポーツイベントの開催について 豊明市全体の「体育の日」を制定してほしい。 市内にあるスポーツ施設を使用し、一斉にスポーツ大会を開催したり、各地区で何らかのスポーツイベントを行ったり、スポーツに関する講演会などを開催してほしい。</p> | <p>本計画では、市全体を巻き込んでのスポーツイベントとして、笹川スポーツ財団が実施している「チャレンジデー」への参加を、具体的施策の一つとして検討しています。 チャレンジデーとは、年1回、参加自治体が一斉に行い、人口規模がほぼ同じ自治体間で午前0時～午後9時の間に、15分以上継続して運動を行った住民の参加率を競い合います。参加率に応じて金銀銅のメダルが授与され、敗れた場合には、対戦相手の自治体の旗を庁舎のメインホールに一週間掲揚しなければならない、といった住民総参加型のユニークなイベントです。意図される体育の日とは、多少異なるかもしれませんが、このイベントの開催にあたっては、各地区での大会や体験会などのスポーツイベントも計画していくこととなり、同様の効果が得られると思っております。</p> |
| 5 | <p>スポーツ施設の新設と改修の検討について 豊明市は体育館が少ないので、簡易な体育館で良いので、屋外スポーツでも雨天の時に競技ができるような施設を建設してほしい。</p> | <p>本計画の策定にあたり、市民アンケートや団体ヒアリングの中で、施設の改修や新設について、多くのご意見をいただきました。特に、勅使グラウンドやテニスコートについては、早急に改修してほしいとの意見が多く、ハード面の整備に対するニーズの高さが伺えます。 そのため、本計画では、施設の新設と改修の検討についてを重点プロジェクトの一つとして位置付けております。しかし、施設の新設には多くの費用を要しますので、まずは、勅使グラウンドやテニスコートなど、老朽化したスポーツ施設の整備を行います。また、体育施設不足については、施設利用率を鑑みながら、学校スポーツ施設開放の拡大、空き施設の有効活用によって施設の確保等に努めていきたいと思っております。</p> |
| 6 | <p>スポーツ施設の新設と改修の検討について 国道1号線より南地区には体育施設がない。その地域に住んでいる人でも、徒歩や自転車で行ける距離に体育館を建設してほしい。</p> | <p>本計画の策定にあたり、市民アンケートや団体ヒアリングの中で、施設の改修や新設について、多くのご意見をいただきました。特に、勅使グラウンドやテニスコートについては、早急に改修してほしいとの意見が多く、ハード面の整備に対するニーズの高さが伺えます。 そのため、本計画では、施設の新設と改修の検討についてを重点プロジェクトの一つとして位置付けております。しかし、施設の新設には多くの費用を要しますので、まずは、勅使グラウンドやテニスコートなど、老朽化したスポーツ施設の整備を行います。また、体育施設不足については、施設利用率を鑑みながら、学校スポーツ施設開放の拡大、空き施設の有効活用によって施設の確保等に努めていきたいと思っております。</p> |

| | | |
|----|--|--|
| 7 | <p>障がい者スポーツの検討について パラリンピックでも実施されている車いすテニスを、高齢者向けのショートテニスなどを応用し、検討してみたいかですか。</p> | <p>本計画では、スポーツ教室を障がい者にも参加しやすい環境づくりを目指していきます。そのため、参加希望者がおりましたら、初心者教室等を開催しているショートテニス協会へ相談し、対応をしていきたいと思ひます。</p> |
| 8 | <p>スポーツ推進委員について 豊明市のスポーツ推進委員は高齢者の方が多く、スポーツを推進する指導者としては、不合理と思われるので、定年制を示唆します。</p> | <p>スポーツ基本法の制定により、スポーツ推進委員に対する期待と役割は、以前にも増して大きくなりました。市民の皆さんにスポーツを広めていくには、実技指導だけでなく、地域でのスポーツの自立が必要だと考えます。そのためには、地域での調整者として、地縁があり、経験豊富な委員の力が必要です。よって、若い委員は実技の指導者として、高齢の委員は地域のコーディネーター役として、両者とも欠かすことのできない存在です。年齢による合理・不合理はなく、定年制を設ける考えはありません。また、県下と市の委員の平均年齢を比較すると、4歳ほど豊明市の方が高いですが、それほど乖離はしていません。ただし、担い手が少なく、委員の年齢が年々高齢化してきていることは、課題として認識しております。その担い手を増やすために、情報発信の強化を行い、活動の周知をすすめていきたいと思ひます。</p> |
| 9 | <p>学校体育施設スポーツ開放の充実について スポーツ施設が少ない中、小中学校の体育施設の利用は必須で、多種多様な競技が可能となる設備が必要です。そのため、体育館を2分する防球ネットの設置と、支柱を立てる穴の不具合を改修してほしい。</p> | <p>学校により、防球ネットの有無、支柱基礎の深さに差異があります。学校体育施設スポーツ開放を充実していくことは、今後の市スポーツの発展のためには必要なことですので、今後調査をし、改修を検討していきます。</p> |
| 10 | <p>指定管理者制度導入の検討について 現在の福祉体育館の利用時間は9時～21時となっていますが、事業等を開催する際は、善意で少し早く開館していただくこともあり、事業が円滑に行なわれ感謝しています。指定管理者制度が導入された場合、開館時間等はどうなりますか。また、臨機応変に物事を処理することができるか懸念されます。</p> | <p>福祉体育館の利用時間は、準備や片づけをしていただく時間も含めた時間です。そのため、通常よりも早く貸出することを定めているわけではありません。ただし、市が主催、共催、後援等を行う事業で、アリーナ全面利用などのため、準備に時間が必要な場合は、少し早く準備することを認めています。指定管理者制度導入の目的の一つに、サービスの向上が挙げられます。導入した場合は、市と指定管理者間で条例等で定めていること以外にも、細かな仕様を定めた協定書を結びますので、その中で指定管理者に不利益にならない範囲内で、臨機応変な対応を求めていきたいと考えています。</p> |